

本校6年生を対象に実施された 本調査の結果について

4月17日（木）、本校6年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」について、結果がまとまりました。この調査は、国語と算数の2教科のテストと同時に、家庭での過ごし方や学習時間を問う調査も実施されており、生活習慣と学力との関係など、本校の子どもたちの状況をお伝えします。

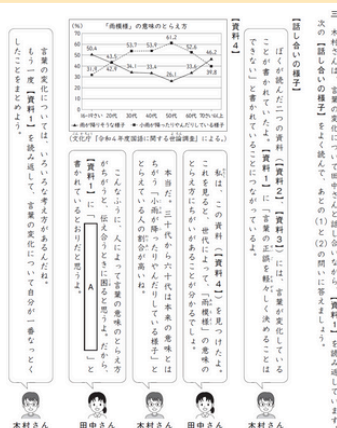


 国語科

様々な学習場面で 資料の読み取り経験を大切に

「思考・判断・表現」の書くことに関する問題の正答率が、全国平均を上回っていました。しかし、「思考・判断・表現」の読むことに関しては全国平均を下回る結果となりました。

目的に応じて、文章と図表などを結びつける
などして必要な情報を見つけることができるよ
う、国語科だけでなく社会科など様々な教科、
学習の中で指導をしていきます。



 算数科

(2) ひろとさんたちは、分数のたし算についても、小数で考えたようにふり返っています。

まず、みおりさんは、 $\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$ についてまとめています。



ふたり

$\frac{2}{5}$ は $\frac{1}{5}$ の 2 個分、 $\frac{1}{5}$ は $\frac{1}{5}$ の 1 個分です。
 $\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$ の計算は、 $\frac{1}{5}$ をもとにすると、 $2 + 1$ を使って
 考えることができます。

$\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$ は、もとにする数を $\frac{1}{5}$ にすると、整数のたし算を使って計算することができます。

次に、ひろとさんは、 $\frac{3}{k} + \frac{2}{3}$ について考えています。

$\frac{3}{4}$ は $\frac{1}{4}$ の 3 個分、 $\frac{2}{3}$ は $\frac{1}{3}$ の 2 個分です。
もとにする数が $\frac{1}{4}$ と $\frac{1}{3}$ でちがうので、同じ数にしたいです。

$\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$ についても、もとにする数を同じ数にして考えることができます。

もとにする数を同じ数にすると、その数はいくらになりますか。その数を
書きましょう。また、 $\frac{3}{4}$ はその数の何個分、 $\frac{2}{3}$ はその数の何個分ですか。
数や言葉を使って書きましょう。

日常生活の中で
数に触れる経験を大切に

分数の計算問題は全国平均を上回っていますが、分数について数や言葉を使って説明する問題は全国平均を下回っていました。また、割合に関する問題も、全国平均を下回る結果となりました。

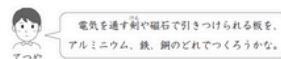
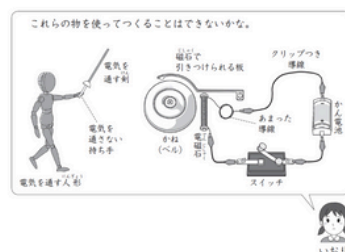
具体物を用いた算数的活動を大切にすることはもちろん、低学年から遊びや生活の中で身近な数に触れる経験をたくさん積めるように指導していきます。

 理科

実感を伴った
体験活動を大切に

実験器具や実験の仕方、花のつくりなどを問う知識技能に関する問題は全国平均を上回っています。しかし、同じ知識技能に関する問題でも、金属や電気、磁石に関する問題は全国平均を下回る結果となりました。

金属の種類や素材に着目するような活動を行うなど、実感の伴った体験活動を大切にしています。



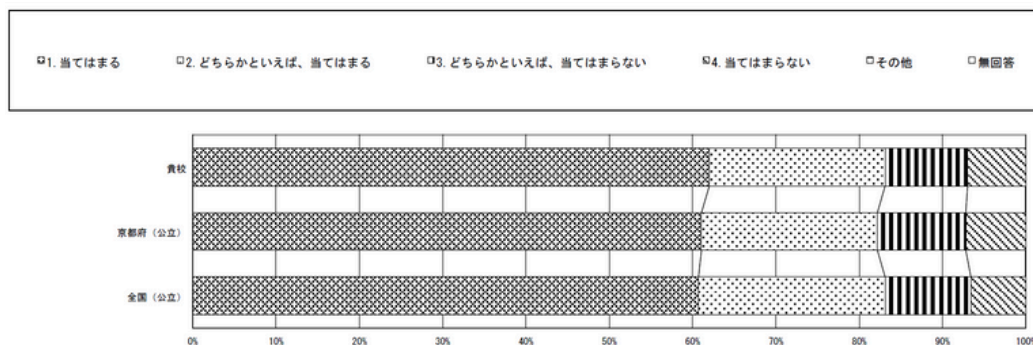


「未来に向かってしなやかに伸び続ける」



児童質問調査①

将来の夢や目標を持っていますか



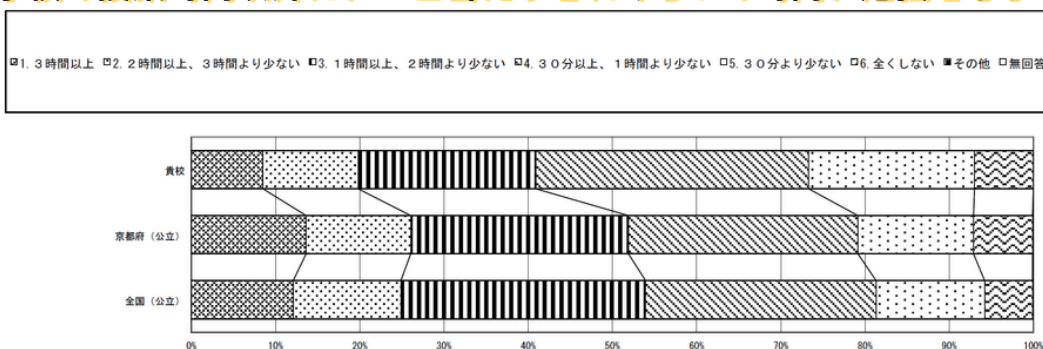
「将来の夢や目標を持っていますか」という質問に対して、肯定的な回答をしている児童の割合が多いです。

自分なりの目標をもって取り組むこと、夢や希望をふくらませることは前向きな生活を送る上で非常に大切なことです。学校生活の様々な場面で非認知能力を伸ばすことを大切に、自己実現ができる児童の育成を目指していきます。



児童質問調査②

学校の授業時間以外に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか



平日の家庭学習の時間は、全国平均に比べて少ない結果となりました。自分ですべきことを考えて家庭学習に取り組むことは、非常に大切だと考えています。自己実現を叶えることにつながるこの力が定着するよう、今後も指導を行っていきます。ご家庭でもお声掛けいただけると幸いです。



全体を通して

子どもたちの可能性を伸ばすために

全国学力・学習状況調査は、子どもたちの学習の状況を知り、子どもたちの可能性をさらに伸ばしたり、課題を解決したりしていくためのものです。結果が学力のすべてを表しているのではなく、順位を競うものでもありません。本校では、今回の結果から見えてきた成果や課題を学校内でも共有し、研修や討議を重ね、指導法や指導体制を工夫するなどして各学年の児童の学力向上に努めてまいります。



保護者の皆様へ



学校と家庭の連携にご協力をお願いいたします

学力は、学校・家庭・地域での地道な積み重ねにより定着していくもので、望ましい生活習慣や日々の学習習慣がその基盤となります。

家庭と学校の連携をさらに深め、子どもたちの健やかな育ちと学びの環境づくりをご家庭と共に進めていきたいと考えています。今後もご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。